

第70回全日本バレーボール高等学校選手権大会

男子 決勝 戦評

会場：CNAアリーナ★あきた

主審：菅原 駿輔 副審：原 雄太

| | | |
|-------|---------|--------|
| 雄物川高校 | 25 — 10 | 秋田工業高校 |
| | 25 — 17 | |
| | 25 — 20 | |
| | — | |
| | — | |

試合時間 63分

戦評

23年連続出場を目指す雄物川高校と、2年連続の決勝の舞台となった秋田工業高校の一戦。

第1セット、序盤硬さが見られる両者であったが、雄物川が栗田のサーブから一歩抜け出すと、その後も渡邊のスパイクなどでリードを広げる。13-6となったところで秋田工業がタイムアウトを取るが、その後も雄物川の勢いは止まらず、サイド、クイックなど多彩な攻撃で得点し、最後は栗田が決め第1セットを先取する。

第2セット、秋田工業は吉川のサーブで崩し、得点するなど一進一退の攻防を続ける。点差を広げられたくない秋田工業であったが、連続得点を許すなどし、13-9となったところでたまたまタイムアウトを取る。終盤まで雄物川はリードを保ち試合を進め、追いつきたい秋田工業であったが、雄物川の高いブロックをなかなか打ち抜くことができず、逆に雄物川がレシーブからのスパイクを確実に決めリードを広げる。流れが秋田工業に傾くことなく雄物川がそのまま連取する。

第3セット、雄物川は前沢のサーブで勢いに乗るかと思われたが、秋田工業はしぶとくワンタッチを取り、アタッカー陣がしっかりと決めて雄物川を離さない。その後も秋田工業はクイック中心に攻撃を組み立て、雄物川を追いかける。しかし、試合終盤、秋田工業はサーブで崩されリードを広げられ、最後は栗田のインナースパイクが決まり試合終了。雄物川高校が23連覇を決めた。

戦評者： 杉山 岳